

政策評価懇談会（第25回）議事要旨

1 日時：平成22年3月2日（火）13:30～15:05

2 場所：法務省第一会議室

3 出席者

（委員）

立石座長，川端委員，田辺委員，寺尾委員，中村委員，前田委員，山根委員，六車委員，渡辺委員
（法務省）

中川秘書課長，後藤会計課長，佐々木官房参事官（総合調整担当），佐藤官房参事官（予算担当），
岩田政策評価企画室長補佐官，各局部課担当者

4 概要

平成22年度法務省事後評価の実施に関する計画（案）について事務局から説明した後，委員に意見を求めた。

法務省支出総点検の実施結果について報告を行い，委員に意見を求めた。

5 主な意見・指摘等

- 「基本法制の維持及び整備」の中の会社法改正について，企業という立場からすると，何を目指しているのかということに記載していただきたい。
- 「矯正施設の適正な運営に必要な民間開放の推進」について，PFIとか民間委託というのが増えていくのに定員が増やせないから渋々民間委託をやっているのだという発想ではなく，民間委託には，こういったメリットがあり，それを活用するために必要だというロジックの構築というのが必要になるのではないのか。
- 「更生保護活動の適切な実施」について，これはそもそも医療観察対象者でこの対象となっている人が何名くらいいるのか。全体の数が分からないと，終了件数が，37件から50件に，更に55件になったとしても，どういう意味で減っているのか増えているのかが分からない。
- 「検察権行使を支える事務の適正な運営」について，通訳人の研修のところで，やはり定期的にブラッシュアップというか，やはりそういう機会をできるだけ作って，できるだけ高度な通訳ができる教育を併せてやっていくべきではないか。難しいものに挑戦してもらって，その代わりに，相応しい謝礼をお渡しするというようなことも非常に重要ではないか。
- 「矯正処遇の適正な運営に必要な民間開放の推進」について，落札業者という言葉があるが，業者はどのようにして落札するのか。その点を簡単に記載した方がいいのではないか。
- 「破壊的団体等の規制に関する調査等を通じた公共の安全の確保を図るための業務の実施」について，関係地方公共団体の長からの調査結果提供請求への対応状況の対応日数が，なぜ40日もかかっているのか。
- 「債権管理回収業の審査監督」について，「自主的改善率」が低すぎないかという気がする。どんどん下がっているという状況では，やはり何かは今法務省に求められているのではないか。
- 「人権の擁護」について，接触・認知型，心理変容型，複合型に分けて効果測定を行うことは，よいことだと思うが，評価の際の指標について，もう少し具体化できないか。
- 全般的に，効果測定それ自身の基準など，以前よりよくなっている。また，アウトカム評価を積極的に入れるなど，大変緻密になっている。